

5月28日（日）開催 第3227回例会
兵庫県山岳連盟行事同調例会
新緑のマイナーCを辿る「地獄谷東尾根から表六甲へ」

再度支部 細川 晴弘

午前8時30分に神戸電鉄大池駅に集合。参加者は、全員ヒヨコ会員で総員28名。天気は下り坂とのことでしたが、曇りで熱くもなく登山には適した日和となりました。

大池駅前で吉野名誉会長からのご挨拶。登山開始に当たって配布された国土地理院の白地図には、地獄谷西尾根、地獄谷のルートの記事はあるものの、地獄谷東尾根の道は記載がありません。元々は防火林の道であり人の立ち入らない道だったそうですが、近年きれいに整備され山歩きのしやすい道になったとのこと。古い案内図には、地獄谷東尾根の表示がありましたが、途中の私設道標では、いずれも地獄谷東尾根の道標は外されていました。レスキューが入り難い道なので東尾根に誘導しないようにしているらしい。今回のような企画がなければ、なかなか経験できないルートでした。

また、休憩時等に木を不用意に揺すったりしないようにとの注意喚起あり。蜂が巣を作り始めている季節なので、警戒した蜂に刺される恐れがあるとのこと。勉強になりました。



古い「地獄谷コース案内図」

8時40分ごろ大池駅前を出発、約20分住宅地を歩き地獄谷登山口に到着。

その手前の小さな広場で準備体操を実施。



準備体操（地獄谷登山口）

登山道は、急登を含めたアップダウンが数多くあり、階段等の人工物もなく落ち葉を踏みしめて歩くのは心地が良かったです。あまり人が入っておらず、途中遭遇したのは地元のご夫婦一組だけ。ウツギ、オダマキ、ガクアジサイの花等さまざまな植物も観察でき、尾根を越える爽やかな風で清々しく、静かな裏六甲を楽しめました。



地獄谷・地獄谷西尾根を望む

午前11時25分にシュラインロードとの合流地点に到着。細い道に大人数の縦隊だ

ったので、登山口から合流地点までの約2.4Kmに、休憩時間を含めて2時間20分と結構時間がかかりました。



地獄谷東尾根ルートとシュラインロード出合

シュラインロード～ノースロードを歩くこと約35分、ちょうど正午に記念碑台に到着。自然保護センター前の広場で昼食休憩をとり、記念写真を撮影しました。



記念碑台での記念写真

昼食後、一路下山へ。計画では寒天山道を下山することになっていましたが、歩きやすい道をとということで油こぶしルートに変更。14時20分に登山口に到着し、解散しました。休憩を含め約6時間、10Kmのトレッキングでした。

ところで、皆さん、白地図に当日歩いた地獄谷東尾根ルートをプロットするという宿題はできましたでしょうか。回答は、以下の通りです。答え合わせをしてみてください！



吉野名誉会長からの模範解答

(付録)

油こぶしを下山途中、沼田(ヌタ)場を発見しました。沼田場とは、ご存じの通りイノシシ等が体を擦り付けて体表のダニなどの寄生虫を落とすための水たまりのことですが、干上がっているとよく分かりません。しかし、近づくとマダニ等を連れて帰ることになるそうです。注意が必要です。勉強になります。

天気 曇り時々晴れ
参加数 28名